

大阪損保革新懇ニュース

NO 39

2003. 1. 14

大阪損保革新懇事務局
大阪市中央区道修町三の三の十
大阪屋道修町ビル3F 06(六三三)二〇九五

二〇〇三年スタート

ホームページ・アクセス二〇〇〇人突破！

二つの仲間の期待に応える運動に

仲間とともに、さらに広げよう！

新年あけましておめでとうございます。

大阪損保革新懇は、昨年第五回年次総会を経て結成五年目の運動にスタートしました。四〇〇名を超える仲間の入会で迎えた総会後も各職場革新懇は、会費の納入と大谷講演録の普及に取り組んできました。また昨年開設した大阪損保革新懇ホームページは、九か月でアクセス数二〇〇〇人を突破しました。これは全国の損保の仲間のみならず幅広い人々にわたしたちの革新懇運動について、情報を発信し励ましているかを物語るものです。

採択された総会アピールは「四〇〇名の仲間とともに運動の歩幅を広げよう」と呼び掛け、「今、職場の仲間は二つの期待を大阪損保革新懇に寄せています。一つは労働組合の枠をこえた運動にたいする期待、二つ目は業界や行政を動かすぐらいの世論づくりにたいする期待です。」と述べています。二〇〇三年年頭に当たり、あらためて大谷昭宏記念講演を力にして、これら仲間の期待に応え得る運動に世話人一同、力をあわせて頑張りたいと思います。

二〇〇三年一月

大阪損保革新懇世話人一同

勇気と感動を呼んだ「大谷講演」

仲間から感想文寄せられる

事務局は総会后、有志のみなさんのご協力を得てジャーナリスト・大谷昭宏氏の講演のテープをおこしをおこない、年内に八〇〇冊を発行することができました。

各職場革新懇を通じて会員のみなさんに届ける取り組みをおこなうとともに、ホームページにも全文掲載しました。講演を聞いた人、講演録を読んだ人から様々の感想が事務局に寄せられています。

ベクトルを企業や政治・社会に向けてを教えられた

先生の講演でベクトルという言葉を使われ、強いものや権力にぶつけるのではなく、弱い者や弱い層にぶつける今のやり方は社会だけでなく、職場でも共通している。

特に、高齢者や女性にぶつけて消化しているやり方を、企業や政治や社会に向けていかねばならないと教えられました。

本当に心を動かされました

「法律に触れなければ何をやっても良いのか」「会社のやることは仕方ない」として黙っていいのかという問いかけには本当に心を動かされました。沈黙は犯罪（共犯）者だといわれたように思いました。

ひしひしと伝わるものが

レジュメはなかったが、現場取材に基づいた数字に基づいた講演には説得力があり、ジャーナリストとしての迫力ある講演にひしひしと伝わるものがあつた。

はっとさせられた感じです

仕事の都合で残念ながら総会に欠席したが、翌日、大谷講演は感動したと参加者から聞き、講演録が出来るのを楽しみにしていた。

講演録をもらって一挙に読んだが、「企業に忠実ではなく自分の良心に忠実に生きよう」という呼びかけには、はっとさせられたと思います。

事務局短慮

年末も押し迫ったある日、革新懇に電話が鳴り「浜松で代理店をやっているものですが、ブックレット「どうなる・どうする損保の未来」を十冊送ってください」の注文を受けました。あらためて今もなお「品川講演」の存在感を示す出来事でした。

二〇〇三年度会費納入のお願い

会員のみなさん、二〇〇三年度の会費三〇〇〇円の納入をお願いします。同封の郵便振替用紙または近くの職場世話人まで預けていただくようお願いいたします。